

厚別西地区  
第19回「防火のつどい」



救命装置AEDの取り扱い説明の様子。この後、実際に装置を使用してみました。

厚別西地区の発足間もなくから続いている取り組みに「防火のつどい」があります。厚別西町内会連合会と厚別消防団西分団の協力により第十九回を迎えた今年も「みんなで自主防災を体験しよう」をテーマに、七月八日(土)に子どもを含む、地域住民約四百人が参加して行われました。



マルバツ  
○×クイズで盛り上がる様子。

「私たちは、地域の命・財産は自分たちで守ることを目的に活動しています」と、厚別消防団西分団長の笠島保博さんは力強く話します。天ぷら油火災の実演では、ぬれタオルを数枚かぶせる消火方法を学びました。ほかに、各施設で設置が進むAED(突然、心停止状態に陥ったときに装着して用いる救命装置)の取り扱い説明や家庭でできる応急措置法、心肺蘇生法が学べるコーナーがあり、皆真剣な表情で取り組みました。

厚別西まちづくりセンター  
厚別西2条3丁目8-31 (8) 4555

災害は起きないことが一番ですが、訓練により緊急時に対応できるようにすることが大切です。これからも安心して暮らせるまちづくりのお手伝いをしていきます。

北原 良紀 所長

区役所掲示板

～改善事例報告～

〔詳細：総務企画課庶務係〕  
☎995-2400 (内線215)

厚別区役所では、市民サービスアップの取り組みをより効果的に進めていくため、来庁された方にアンケート調査を実施しています。平成17年3月に実施したアンケートに寄せられたご意見をもとにこれまでに改善した事例の一部をご報告します。今後も改善に向けた取り組みを継続していきます。

●施設設備に関する改善事例1

全フロアにベビーカーを置いてほしい。

職員から家庭で不要となったベビーカーの提供を受け、配置しました。



●施設設備に関する改善事例2

プライバシーに配慮したカウンターを検討してほしい。

各課の相談カウンター上に隣席との仕切り板を設置しました。



●施設設備に関する改善事例3

1階の相談コーナーが狭く、ゆっくり相談できない。

通路の幅員を120cm以上は確保し、車いすの方も不自由なくご利用いただける相談コーナーとしました。



●国民健康保険の相談手続きに関する改善事例

順番待ちの番号札がないため、誰が待っているのか、どの人が先に待っていたのか分からずに、トラブルにありました。



職員が開発した番号交付機を設置しました。

来庁者アンケートの結果は、厚別区役所総務企画課および、厚別区ホームページでご覧いただけます。ホームページ「あつべつ・く」<http://www.city.sapporo.jp/atsubetsu/>